



エコ発信局 ～いそちゃんの部屋～

ここでは、身近なところから環境意識を高めようと、エコに関する豆知識を発信しています。季節やブームなどに合わせて、月に一度のペースで更新していきますので、継続してお読みいただければ幸いです。

(「いそちゃん」とは執筆を担当する千葉大学環境 ISO 学生委員会のキャラクターです)

vol.5-2018年1月 冬と省エネ②



寒い部屋とうまくつきあっていこう！

新年あけましておめでとうございます！先月では、様々な暖房器具についてご紹介しましたが、今回は光熱費が大幅にかかってしまう暖房器具を使わずに、寒い部屋で快適に過ごす方法をいくつかご紹介したいと思います。

1 湯たんぽを使おう！

湯たんぽは、日本では室町時代から使われていたとされています。2007年に始まった不況により原油価格が高騰したことで省エネが見直され、近年再び注目されてきています。お湯を沸騰させて入れるだけで長時間温かさを保つので、光熱費がほとんどかかることがなく、非常に省エネにつながります。



2 タオルを濡らしてみよう！

冬は非常に乾燥する季節です。加湿器を使う方も多いと思いますが、やはり長時間運転したままだと、大幅に電気代がかかってしまいます。タオルを濡らして部屋にかけると、加湿器のかわりの役目を果たしてくれます。またわざわざタオルを濡らさなくても、洗濯物を部屋干しすることで同様な役目を果たしてくれます。



3 結露を防ごう！

部屋の暖気のおよそ50%は、窓から逃げてしまいます(*1)。そのため冬の朝に窓を見ると、水浸しになってしまっている様子をよく見かけるのではないのでしょうか。結露防止シートを窓に貼ることで、結露を防止するだけでなく、部屋の暖気が外に流れることを抑えることができます。



4 生姜を取り入れよう！

生姜は、日本では2~3世紀ごろに中国大陸から伝来して栽培が始まりました。食料だけではなく、生薬として使われてきた歴史もあります。生姜を様々な食べ物や飲み物に加えることによって、体を芯から温めることができます。



千葉大学構内のレジ袋有料化と「れじぶー基金」の紹介

近年、スーパーマーケットなどでレジ袋の有料化を実施している店舗をみかけます。千葉大学では、千葉大学生協同組合（以下、生協）と協力し、2005年に試験的にレジ袋の有料化を導入し、アンケートなどの調査結果と、生協の環境に対する積極的な姿勢もあり、2006年度には西千葉キャンパスの生協店舗でのレジ袋の有料化（1枚5円）が完全に実現しました。また、2007年度には松戸・亥鼻キャンパスでも実現しました。2016年度は110万人以上の方が生協を利用しましたが、その中でレジ袋を購入したのは利用者全体の0.5%未満の、5,327人とどまりました。



これによりこれまでレジ袋の購入に充てられていたお金と、レジ袋の販売収入を「れじぶー基金」として生協から拠出いただき、環境 ISO 学生委員会が、レジ袋削減にご協力いただいた学内の学生や教職員に対し、エコグッズの割引販売や省エネイベントの実施、学内の緑化、前号でご紹介した太陽光によるイルミネーションなど、さまざまな環境活動で還元しています。

2017年度のエコバッグ制作・販売 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000176.000015177.html>



▲2006年から開始



▲生協のレジにある有料表示



▲れじぶー基金で制作販売したエコバッグ

ウォームビズを紹介! ③

環境省では、「COOL CHOICE」とよばれる、生活における地球温暖化対策として「賢い選択」を促す運動を推進しています。その一環として、毎年11月1日から3月31日までに実施している「ウォームビズ」について、来年3月まで毎月ご紹介したいと思います。今回は、「鍋」についてご紹介します(*2)。

寒い時期、家で鍋を食べる機会が多くなるのでしょうか。鍋を食べることで体が温まるのはもちろんですが、体温は外の湿度や気流によっても変化します。湿度が高いと人は温かいと感じるので、お湯のはった鍋を置いたり、ストーブの上にやかんを置いてお湯を沸かしたりすることで、暖房を抑えても寒さを感じにくくなります。よって、暖房を使うことで発生する光熱費を抑えることができます。



*1 参照：経済産業省資源エネルギー庁 HP

*2 参照：環境省 HP